

スケジュール・費用 (応募対象1件につき)

1 応募受付 4/1-5/21 13:00 JST

応募は専用WEBサイト(エントリーサイト)から受け付けます。受付期間中に審査の視点セミナーや個別相談をオンラインで実施します。

2 一次審査(書類審査) 6/3-6/29

応募時にエントリーサイトでご登録いただいた情報をもとに審査を行います。 [一次審査料]16,500円

3 二次審査(現品審査) 7/8-8/24

一次審査を通過した対象は現品での審査に進みます。二次審査会は幕張メッセ国際展示場(千葉県)にて8月5日-8月7日に実施します。審査会場に応募対象(現品)を展示してください。会場に持ち込めない対象は、説明パネルなどの資料で審査を行います。 [二次審査料(一次審査通過者)]71,500円 (二次審査料には、展示内容によるオプション料は含まれません)

4 受賞発表 10/15

グッドデザイン賞のWEBサイトにて受賞対象、グッドデザイン・ベスト100、グッドデザイン特別賞を発表します。10月15日-11月4日の間はGマークを無料でご使用いただけます。 [受賞パッケージ料(二次審査通過者)]181,500円 受賞展出展料、受賞祝賀会への招待、表彰状1枚及び1冊の受賞年鑑の贈呈含む (受賞展の展示内容によるオプション料は含まれません)

5 受賞展 10/31-11/4

東京ミッドタウンにて、すべてのグッドデザイン賞受賞対象を展示する受賞展「GOOD DESIGN EXHIBITION 2026」を開催します。受賞展期間中には、受賞祝賀会を実施します。

○費用はすべて請求書払いとなります。期日までにお支払いください ○金額はすべて消費税込です ○費用は変更になる場合があります。 ○Gマークを無料で使用できる「受賞PR期間」後にGマークを使用する場合は、使用申請・使用料のお支払いが必要となります。

応募説明動画公開中

「グッドデザイン賞とは?」「応募の手続き」などが簡単にわかる動画を公開中です。詳しくはグッドデザイン賞のWEBサイトをご覧ください。



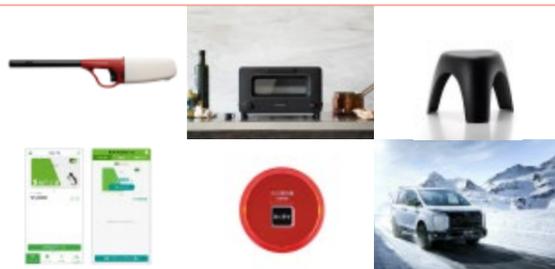
LONG
LIFE
DESIGN

ロングライフデザイン賞も応募受付中

ロングライフデザイン賞は、暮らしのインフラとして、デザインの原器として、社会に定着したレジェンド・グッドデザインだけに贈られるプレミアムな賞です。

応募
受付

2026年度ロングライフデザイン賞
4月1日(水)-5月21日(木)



Good Design Journal

.g Good Design Journal

賞の最新動向や受賞者を訪ねるインタビュー企画など、グッドデザイン賞に関する情報を中心に、デザインの新しい可能性を発信しています!

詳細・応募は

www.g-mark.org

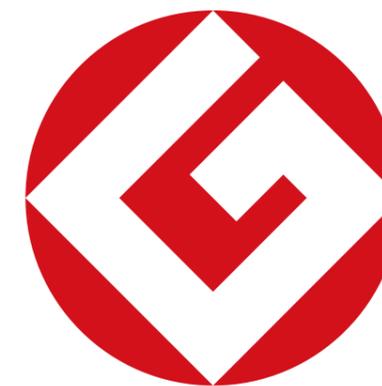


GOOD DESIGN AWARD 2026

CALL FOR ENTRY

2026.4.1 WED-

5.21 THU 13:00 JST



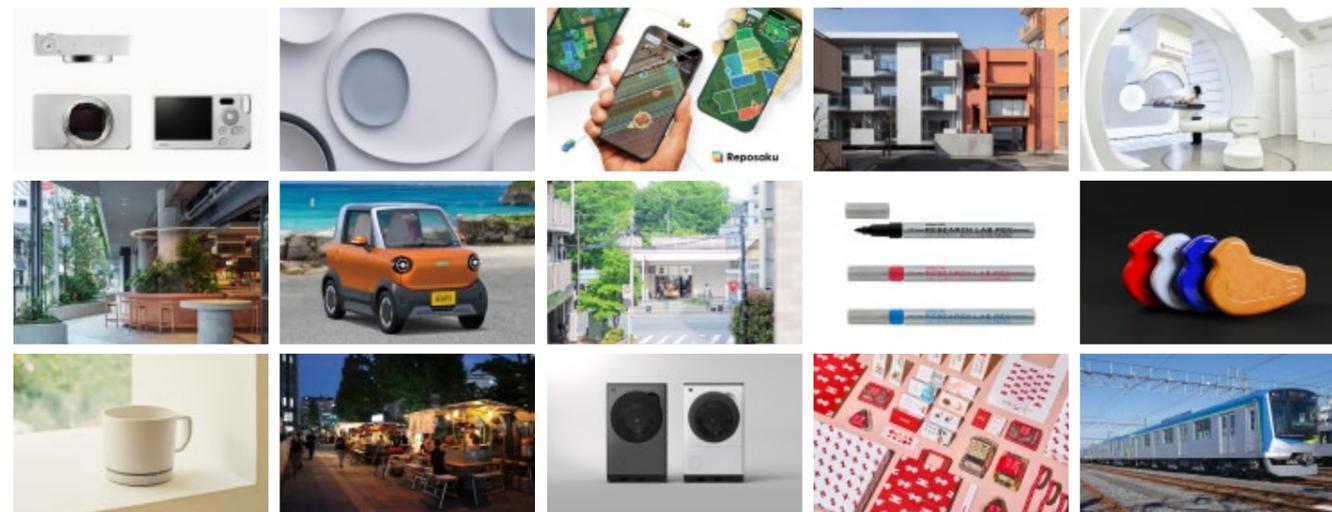
GOOD DESIGN AWARD 2026

2026年度 グッドデザイン賞 応募ガイド

GOOD DESIGN AWARD 2026

応募資格は有形無形のあらゆる“デザイン”されたもの

デザインという言葉と役割が浸透し、社会での重要度が増すにつれ、グッドデザイン賞の応募対象や応募者の幅は大きく広がっています。プロダクトや建築、インテリアはもちろん、社会や地域の課題解決、新しいコミュニケーションのシステム、メディア、ビジネスの開発まで。人や社会、環境のためにつくられた有形無形のデザインを応募することができます。



応募締切
5/21
13:00まで

ご応募はWEBから
www.g-mark.org

受賞特典

Gマークを活用した販売促進

受賞対象ごとに表彰状が贈呈され、受賞年鑑に掲載されます。受賞作品は「Gマーク」を使用したPRが可能です。プレスリリースやSNS、商品パッケージなどに幅広く活用できます。

受賞ギャラリー掲載・評価コメント公開

1957年以降すべての受賞対象を掲載し、年間約500万人が利用する国内最大級のデザイナーカブ「受賞ギャラリー」にて紹介します。審査委員である国内外のデザイナーや専門家からの「評価コメント」も公開します。

各種イベント・媒体での露出

全受賞作品を展示・紹介する受賞展を東京ミッドタウンで実施します。受賞祝賀会の開催や、グッドデザイン賞からのPRに加え、テレビ・雑誌などの特集や、小売店での販売、海外の展覧会への出品など、幅広い形で露出機会が増加します。



グッドデザイン賞とは

1957年創設

当時の通商産業省によって創設された「グッドデザイン商品選定制度(Gマーク制度)」が母体です。

45の国と地域が参加

毎年1回の公募制で開催され、いまでは世界45の国と地域から応募デザインが集まる国際的なデザイン賞です。

特別賞の種類

グッドデザイン賞を受賞したものの中から、未来を示唆する優れたデザイン「グッドデザイン・ベスト100」が選ばれ、さらにその中から以下のような特別賞が選ばれます。

2025年度 受賞結果

受賞数:1,619件 審査対象:5,225件

約100名の審査委員

第一線で活躍する国内外のデザイナー・建築家などの専門家、約100名で審査を行っています。

- グッドデザイン大賞
- グッドデザイン金賞
- グッドフォーカス賞[新ビジネスデザイン]
- グッドフォーカス賞[技術・伝承デザイン]
- グッドフォーカス賞[地域社会デザイン]
- グッドフォーカス賞[防災・復興デザイン]

審査方法

〈一次審査〉応募情報をもとにした書類審査です。



〈二次審査〉審査委員が応募対象の現物を1点ずつ手にとって審査します。二次審査会は幕張メッセにて実施します。



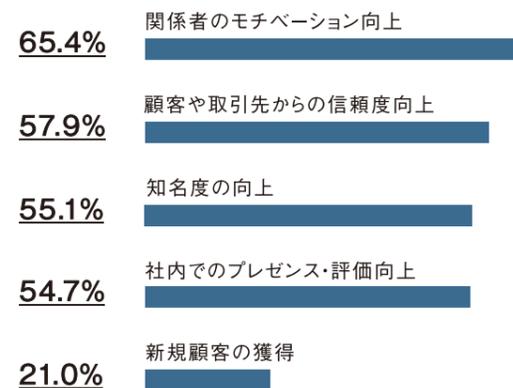
受賞者アンケート結果

1957年の創設以来、60年以上続くグッドデザイン賞。受賞者に行ったアンケートでは、Gマークの高い国内認知度ははじめ、日本のデザインを支えてきた歴史と実績から得られる様々な効果の声がありました。

〈グッドデザイン賞 応募回数〉



〈受賞による効果〉



※2025年11月実施 n=214

受賞者の声

- プロダクトに関わった社員のモチベーション向上につながった。また、商品の引き合いも増加した。(電気・電子・機械)
- メディアからの問い合わせを多くいただき、記事掲載や放映が多数あった。(その他製造)
- 顧客や取引先においてデザイン性の高さをアピールする後押しとなっている。(不動産)
- 多くの市民に喜んでいただき、シビックプライドの醸成に寄与している。(公的機関)

